



0.1ミリ単位の調整が必要とされる繊細な指板部分



ギターにはクラシック、アコースティック、エレクトリック、ジャズ等、様々なタイプがある



以前から付き合いのある日本在住のギター奏者で開発者でもあるティム・ドナヒューさんより依頼を受けているギター



# ギターづくりの技術を生かして 地域に開かれた工房を目指す

松本商工会議所は、経営における基礎知識を学ぶ「創業スクール」を通じて、創業を目指す皆さんを全力でサポートしています。商工会議所を通じて創業計画を策定し、夢を実現された方を紹介する本年のシリーズ第2回目に登場するのは、松本市市場にある「スズカギターデザイン」です。代表ノビルダーの鈴鹿清仁さんに、前職で習得したギターづくりの技術と創業スキルで学んだ知識を生かし、工房を立ち上げるまでの経緯を伺いました。

## ギター製造会社で 技術を磨く

高校時代からギターを始めた私は、将来ギターづくりに携わる仕事をしたいという夢を持っていました。当時通っていた福島県の高松は進学校でしたが、技術を学ぶには専門学校が近道だと思い、親の反対を押し切り、卒業後学費を貯め

るために1年間働き専ら門学校に進むことにしました。上高地のホテ

に居ることにしました。当初は、現在両親が住む茨城水戸市の実家敷地内に工房を建てるつもりでしたが、用途地域がC/A/D/C/A/Mの勉強も行ってため、と

最低限の設備が揃い、工房として稼働しはじめたのは7月にな

作業工程は多岐にわたる

工房内には多くの機械が並んでいる

## 創業への準備と 創業スクールの受講

様々なスタイルのギターづくりを習得した私は、平成30年から独立し、平成31年9月から受講し、創業

## 日本一の生産地 だからこの助け合い

私は今年の3月に有限会社飛鳥を退職し、工房の準備を本格的に開始しました。創業

松本市はギター業者が多い割に地元の奏者が気軽に立ち寄れる工房がありません。当初の思いとは変わってしまいましたが、これからは立地条件を生かし、メンテナンスや修理などにも素早く対応できる「地域に開かれた工房」を目指していきたいと思

初は商工会議所のサポートを受けながら、市の家賃補助・利子補給を活用しました。当初の思惑では4月には工房設備も整い同業者からの仕事で忙しくなる予定でしたが、新型コロナウイルスの影響をダイレクトに受け、工房の設備の導入や工事が大幅に遅れ、さらに都心や県外へ営業や開業の挨拶に行くこともできませんでした。しかしこうした時間を有効に使い、商工会議所の支援のもと、国の小規模事業者持続化補助金を申請し、採択を受けることができました。

創業時は都心の営業活動に力を入れたが、現実が難しいと考える。当面は受注内容に合わせて必要な治具製作や設備をさらに充実させるとともに、アーチトップギターをメインとしたオリジナルモデルの開発に力を注ぎたいと思います。

お申込みお問合せ 松本商工会議所 中小企業振興部 経営支援グループ 〒390-8503 松本市中央1-23-1 TEL:0263-32-5350 FAX:0263-32-1482 MAIL:soudan@mcci.or.jp

コロナ禍を乗り切るために小規模事業者持続化補助金へチャレンジしてみませんか?

# 『経営計画作成のツボ』

## セミナー

理論編・実践編の2日開催

令和2年 11/9(水) 11/18(水) 両日とも 14:30~16:30

●講師: 黒沢 正行氏 中小企業診断士  
●対象者: 経営者・後継者・経営幹部等 (会員・非会員は問いません。)  
●定員: 15社 (1社2名まで参加可能。定員になり次第締め切り致します。)  
●申込方法: 松本商工会議所HPに掲載の参加申込書にご記入の上、FAX・電話またはメールにて下記までお申し込みください。  
●会場: 松本商工会館 6階 601会議室(松本市中央1-23-1) 駐車場はございませんので近隣の有料駐車場をご利用ください。